

【第64号】
平成30年12月28日

福島県相双建設事務所

相双建設事務所
マスコット
キャラクター
「びんぐりんマン」



復旧復興だより

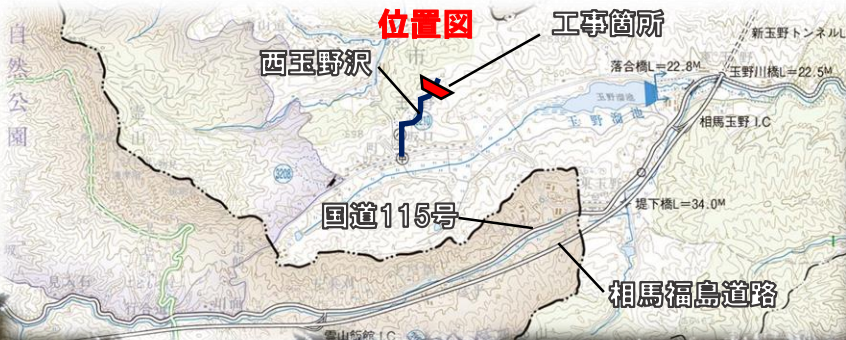
【この便りは、福島県相双管内の復旧・復興事業の進捗状況や地域づくり活動等の取り組みをお伝えするものです】

◆ 西玉野沢砂防堰堤が完成しました！！

※監督員のコメント 河川砂防課

片桐技師

“相馬市玉野地区において整備を進めてきた砂防堰堤が工事完了となりました。今後の土砂災害防止に寄与することを期待しております。”



施設効果(H23.7新潟・福島豪雨)

土石流発生前
(平成22年10月)



土石流発生後
(平成23年8月)



相馬市玉野地内における溪流「西玉野沢」では、人家や旧小・中学校、市役所支所などの施設がありますが、上流の傾斜地が崩れやすくなっており豪雨の際の土砂の流出が懸念されてきました。今回の砂防堰堤の整備により、大雨等で土石流が発生した際に堰堤が大きな岩や流木などを含む土砂を溜めることで、下流の家屋等への被害を防ぎます。これにより土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心な暮らしが確保されます。

◇復興状況のお知らせはふくしま復興ステーションをご覧ください。ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>

◆八木沢トンネルで防災訓練を実施しました！！

12月4日に県道原町川俣線八木沢トンネルで防災訓練を行いました。トンネル内での火災事故は重大な事故につながることから、発生した際には迅速かつ効果的な情報伝達や救助活動、消火活動が求められており、参加者は一人一人が実際の現場を想定し、真剣に取り組んでいました。



みんな真剣に取り組んでいたドン♪



◆相馬LNG基地を見学しました！！

石油資源開発株式会社さんのご厚意により、新地町で建設を進めている相馬LNG基地の現場見学をさせていただきました。現地では、国内最大級となるLNG（天然ガスを冷却した液体）貯蔵タンクの建設が進められていました。イノベーション・コースト構想の一環で進められている「相馬プロジェクト」の事業推進により、クリーンエネルギーの益々の利活用が期待されています。



～ 地 域 イ ベ ン ト の 紹 介 ～

○高校生が被災地で考える防災サミット in Fukushima

平成30年12月27日（水）に全国の高校生38人がJヴィレッジ（楡葉町）に集い、各グループで行ったワークショップの成果発表や、「東日本大震災の教訓を生かした防災」「高校生が福島で防災について議論する意義」などをテーマにフロアディスカッションを行いました。当日は行政機関、一般参加者合わせて約200人が来場し、高校生の発表やディスカッションに耳を傾けていました。また、相双建設事務所では相双地方の復旧復興状況のパネルを会場に展示し情報発信を行いました。



パネル展示状況



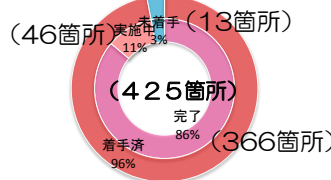
会場の様子

◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況（平成30年11月末）

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

（帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。）

○平成30年11月末



編集者：福島県相双建設事務所 企画調査課 TEL0244-26-1228 FAX0244-26-1197

管内についての詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。

◇ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41370a/soso32056.html>

◇Facebook <https://www.facebook.com/sousoukensetsu/>

◇Instagram https://www.instagram.com/sousou_kensetsu/

みんな見て欲しいドン♪



フェイスブック



インスタグラム